由利本荘市立由利中学校 校報　　「チーム由利中　心ひとつに」

根堀台だより

平成28年11月15日

第 60 号

校 訓「 進 歩（文 ）」「 健 康（武 ）」「 協 力（道 ）」

先輩と学び会う会
生徒会学習委員会

３年生の代表による紹介

家庭学習６万分を目指して

◆１クラス３０人とすると
６００００分÷３０人＝２０００分

◆平日120分　休日180分
家庭学習をすると、11/14～27では
平日９日　休日５日
だから、１０８０分＋９００分
つまり、１９８０分……

もう一息！

先 輩 と 学 び 合 う 会

～学習方法を学んで自分自身を成長させよう～

１１月１１日（金）のロングＹＣＳの時間を使って、生徒会の学習委員会主催の「先輩と学び会う会」がランチルームを会場に行われました。この集会は「先輩や友人の学習方法や生活リズムの作り方を学び、取り入れ、学ぶ力を向上させる。」ことを目的に行うものです。また、２８日（月）に行われる「二学期期末テスト」に向け、今週１４日（月）から２７日（日）の１４日間行われる本校恒例の「みんなで目指せ！家庭学習６万分キャンペーン」への取組の意識向上を図るものです。

今回は受験勉強の時間を割いて３年生の〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さんの３人が自分の「学習方法の紹介」を行ってくれました。中学校に入学し、小学校とは違う「教科担任制」の授業や、年５回実施される「定期テスト」、そして高校入試の「模擬テスト」などを経験し、悩んだり、「試行錯誤」しながら身に付けた「自分の学習方法」は、３人の先輩が「なりたい自分」を目指すことで得た「学ぶ力」だといえます。

人それぞれ性格が違えばその人に合った「学習方法」もまた違ってくるのかもしれません。しかし、他の人の学習の工夫や取組を直接聞くことで、自分自身の学びを振り返るよい機会になると思います。特に、自己の進路実現を目指す３年生の学習方法は、「なりたい自分」を目指すための真摯な取組であるだけに、１・２年生にとっては本当に参考になるはずです。

「先輩と学び会う会」で聞き逃したことも沢山あるはずです。下記に示した「先輩の言葉」を今一度きちんと読み返し、自分の学習に対する意識の向上を図りながら、是非自分の学習方法の参考にしてほしいものです。

「家庭学習６万分キャンペーン」も頑張りましょう。

◎〇〇〇〇さん
　これから国語、英語、社会についての勉強のポイントについて紹介します。今から僕が紹介することは今日の家庭学習に取り入れることができ、さらに学びを深めるためにできることです。
　まず、国語では、辞書を使うということです。例えば漢字を練習しているとき意味の分からないまま練習するより、一度意味を理解したほうが定着しやすいからです。このようにして漢字と意味をおぼえることができるのでお勧めします。
　次に英語では声を出すということです。英語の文法などが覚えられないという悩みがありましたが、声に出すことによって覚えやすくなります。やり方としては自分の解答で声に出し、丸付けのときに答えを声に出すようにしていけばいいと思います。
　最後に社会は説明をできるようにするということです。社会は暗記がメインの教科なのでワークを解けばいいと思いますが、語句が答えられても説明ができないということがあると思います。だから語句が答えとなるような説明を考えればいいと思います。以上のことを試して自分にあった勉強方法を探してみてください。

◎ 〇〇〇〇さん
　私は数学・理科についての勉強の仕方を話します。まず理科は暗記科目です。テストの応用問題には覚えた公式や特徴を使ったものが多いので、テスト範囲のところだけでも暗記するところはしっかり暗記しておけばだいたいの問題はとけると思います。暗記するためには「単語帳」を作ったり、「ルーズリーフ」や」「ノート」に暗記したいものをとにかく書いたりすることがいいと思います。ただ教科書を見るよりだったら書くほうが覚えるし、書くよりだったら声を出して読むほうが用語も意味も覚えやすいです。暗記もせずやみくもに問題練習をするよりは暗記してからやったほうが効率がいいので暗記は後回しにせず、先にやっておいたほうがいいと思います。
　次に数学の勉強の仕方を話します。数学は「練習問題をつむこと」が大事です。数学には公式がたくさんあるけど、それを覚えただけではテストで問題を解けないので「覚えたら使ってみること」が大切です。問題練習が終わったら「丸付け→間違い直し」を必ずしましょう。ケアレスミスですぐ直せるものもあれば、根本的なところから間違っていたということもあるので、間違った原因を分析して「もう二度と間違わないぞ」と思えるようになるまでひたすら解き直しましょう。そのときに一日に何回もやるのではなく、「一日一回を何回も繰り返す」ほうがいいです。そして、忘れかけている１か月後とかにもう一度やってみるといいと思います。間違い直しをする時に自分がよく間違う過程をポイントとして目立つようにまとめておけば忘れにくいです。数学では「覚える→使う→丸付け→間違い直し」のサイクルがとても重要なので、このサイクルを習慣づければいいと思います。また、「分からないところは先生に聞く」ということがどの教科でも大事です。分からなかったところは積極的に先生に聞きましょう。

◎〇〇〇〇さん
　僕は時間の使い方について紹介します。まず僕は帰ってから１時間くらい休み、６時から７時まで勉強します。その後はご飯を食べたりして、８時から１０時までの２時間、１日合計３時間くらい勉強します。
　でもどうしてもやる気が出ないときや眠いときがありますが、そういうときは自分にごほうびをつけると僕は頑張ることができます。例えば「ここからここまでできたらたくさんテレビを見ていい」とか自分がしたいことをごほうびにすると、次第にやる気が出ます。眠いときは、そのまま勉強しても頭にはいらないので寝て、朝に勉強するなど他で補えばいいと思います。本当にやる気が出ないときは、したいことを先にたくさんすることで、やる気が出たりすることもあると思います。
　人によって集中力は違うから、長い時間ダラダラやっても意味が無いので、「３０分勉強して３０分休む」など、少しずつ区切って勉強した方が効果があると思います。